

## 高知県土佐市

活動名

高岡第二小学校支援地域本部

関係する学校

高岡第二小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	学校支援地域本部	3人	124人	20年度	有	有	無	無
	放課後子供教室	2人	19人	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティスクール			実施場所		開始年度		放課後児童クラブとの連携
				図書室		20年度		連携なし
				指定日		委員数		児童生徒数
								学級数

活動の概要・経緯

学校教育活動を支援する取組が行われていたが、十数年前より宅地造成が始まり、新興住宅地を有する学校となった。また核家族化が進んだこともあり、地域内の人々の結びつきや地域の教育力、コミュニティ力が課題となった。そこで「地域全体が一つとなり、学校と地域との連携体制の構築を図り、地域ぐるみで子供を育てる」をねらいとして本事業に取り組んだ。

- ①地域教育協議会を年3回、開催する。
- ②地域内学校への学校支援地域本部事業に係る普及啓発、広報活動を行う。「山の手子ども便り」を通じて広報活動をする。(月1回)
- ③人材バンクの充実（学校支援ボランティア募集に係る広報活動）
- ④学校支援事業活動（4月～3月）
  - ・本の読み聞かせ・安全パトロール・学校等環境整備・「地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上」事業実施・「山の手ふれあいフェスタ」の実施
- ⑤事業成果報告会を1月に実施。(成果報告書を作成)

### 特徴

#### 【特徴的な活動内容】

- 子供の見守り活動。青色回転灯を装着した車から、児童が作成したテープを流し巡回。交差点等での安全指導。マラソン大会のみならずコースに出た練習から安全指導。通学路の点検と関係機関への危険箇所改修の依頼。
- 「山の手ふれあいフェスタ」の実施。地域の連携強化。地域の歴史文化の継承として、本校出身の世界的写真家「石元泰博の世界展」や「35番札所 清滝寺のすがた」を取材展示。3世代交流餅つきの実施。地域特産物販売。地域の特産土佐和紙を使った紙飛行機とぼし大会。保育・小学校・中学校（吹奏楽）児童生徒・地域の伝統「えじま」（土佐市の民謡）や地域の各クラブのステージ発表。
- 地域をあげてのあいさつ運動

#### 【実施に当たっての工夫】

- コーディネーターが地域の諸団体に本事業についての説明と情報発信を行うことで、学校への支援体制が整う。
- 地域資源の活用で地域教育力を向上させる。自発的意志による活動、ボランティア自身の経験や専門力を生かす活動となるようにする。
- 活動後の会（お茶を飲みながらの情報交換の場・交流の場）を設定し、楽しみながら無理なく継続できるようにする。この会は、ボランティアに大好評。
- 豊かな学習活動のために学校支援ボランティア登録名簿を活用する。
- マラソン練習や地域での活動における安全確保のための協力を依頼する。
- 節目で、児童の感謝の気持ちを伝える場の設定や方法を工夫する。
- 学校支援地域本部だよりの配布や廊下壁面にボランティアの方々の写真を掲示する。

### 事業を実施して

- ・地域の方が学校の教育活動に関わることで、多様な体験、経験の機会が増え、規範意識やコミュニケーション能力の向上につながっている。そのことは、生涯学習の成果を生かす場となっており、生きがいづくりにもつながっている。
- ・多くの大人が子供たちを見守ることで、よりきめ細かな教育ができる。
- ・地域住民の力を得ることで、教員が教育活動に、より一層力を注ぐことができる。
- ・地域の活性化や、学校を核とした地域づくりにつながる。

### その他

生活科では、昔遊びの指導、総合的な学習の時間では、3年生の文旦学習、4年生は民話、5年生は田植と稲刈り、6年生は地質学習の指導補助、家庭科ではミシン縫いや調理実習の技術指導補助、体育科では陸上、水泳、ダンスの学習支援、読書指導、マラソン安全指導等



山の手子ども見守り隊



山の手ふれあいフェスタ